



## 第4回「日本ビール検定」検定終了 1,603名が合格 ～累計申込者数 15,000人を達成～

一般社団法人 日本ビール文化研究会(所在地：東京都渋谷区、代表理事：宮石徹)は、第4回「日本ビール検定(愛称：びあけん)」を2015年10月4日(日)に開催した受検結果を報告します。

今年は、札幌、東京、名古屋、大阪、福岡の全5会場にて実施しました。第4回の受検申込者総数は3,174名(受検者総数2,758名)、合格者総数は1,603名(合格率58.1%)となりました。全4回の累計では、15,877名の受検申込を頂戴し、8,623名の合格者を輩出しています。

第2回から開始した1級においては、今年は14名が合格率7.8%の難関を見事突破。これにより、1級合格者は累計で42名(実数39名：3名が複数回合格者)となりました。

第4回の受検者傾向を見ると、20代が最も多く、20・30代で全体の約65%を占め、年々増加傾向にあります。男女比を見ると、女性が32%を占めました。職業別では、飲食業を含めた酒類関係者は全体の25%に留まり、75%の方は酒類を仕事としていない方々が受検しています。クラフトビールの流行により、多種多様なビールに接する機会が増えた結果、若い世代を中心として、ビールに対する注目度があがっていると思われます。

当会では、日本ビール検定を通しビールの多様性や楽しさを伝え、更にビール文化の発展に貢献していきます。今後の活動についても、是非ご期待下さい。

表1：級別受検者数・合格者数 (単位：名)

	3級	2級	1級	合計
申込者数	-	-	-	3,174
受検者数	1,107	1,472	179	2,758
合格者数	865	724	14	1,603
合格率	78.1%	49.2%	7.8%	58.1%

表2：最高得点・平均点

	3級	2級	1級
最高得点	94	97	89
平均点	68.7	68.1	62.9
合格基準	60点以上	70点以上	80点以上

表3：年代別受検者割合(男女合計)

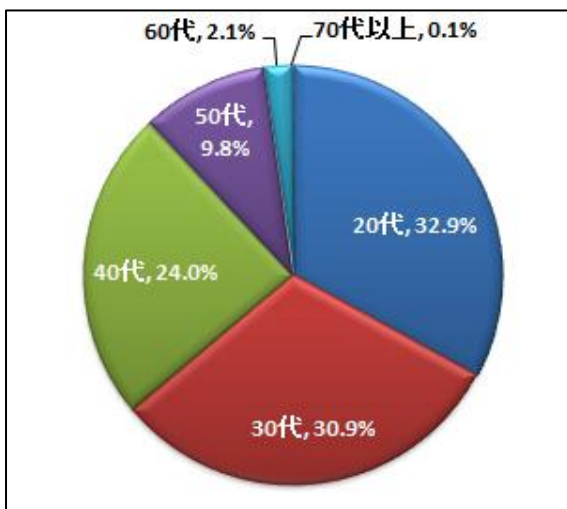
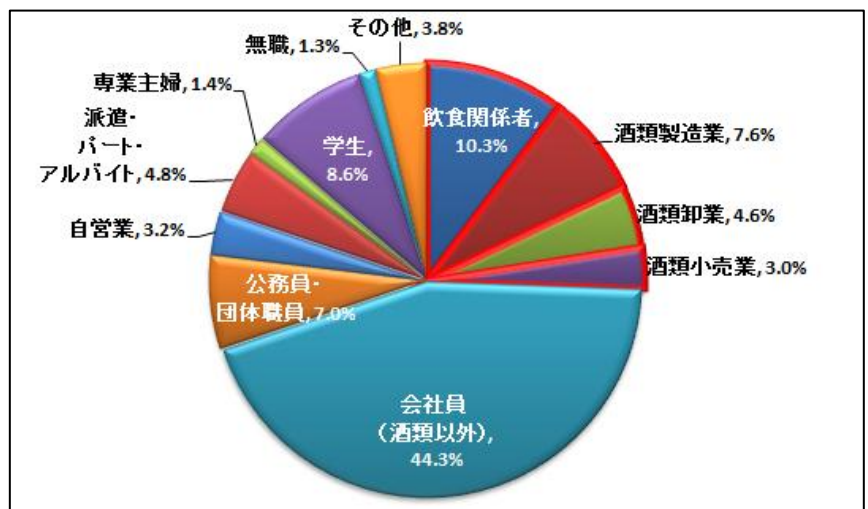


表4：職業構成(男女合計)



## ■ 受検者の声（受検後アンケートより）

- ・ビールにもっと愛着心を持てるようになってよかった。（男性／30代）
- ・受検勉強を通じて、友人にビールについて語れるようになった（女性／20代）
- ・受検することを話したら、飲みに誘われることが増え友達が増えました。（女性／30代）

## ■ 第4回「日本ビール検定」2・3級において、最も正答率の低かった問題

3級より（正答率：6.4%）

問題：ホップには花言葉がいくつかある。ビール醸造には、雌株の花のみが用いられることから連想できる花言葉を、次の選択肢から選べ。

- ① 気高い      ② 不公平      ③ 女々しい      ④ 誘惑

解答：② 不公平

ホップは『ビールの魂』とも言われる重要な原料で、ビールの苦味や香りに影響します。そのイメージのためか、「気高い」を選択した方が41%、「誘惑」を選択した方が46%おりました。ビール醸造では雌株の花しか使用しないことから「不公平」という花言葉がついたと言われています。

## ■ 第4回「日本ビール検定」2・3級において、最も正答率の高かった問題

3級より（正答率：85.8%）

問題：「麦汁」の読み方として正しいものを、次の選択肢より選べ。

- ① ばくじゅう      ② ばくじる      ③ むぎじる      ④ むぎつゆ

解答：① ばくじゅう

ビールの仕込工程で得られる麦のジュースを「麦汁（ばくじゅう）」と言います。ビールづくりには欠かせない用語として、多くの受検生が正解しました。

以上